学校番号	315

令和８年度　芸術科(美術)

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一年次から得た技能・感性を一層深め、個性豊かな表現活動を追求しましょう。
・表現形式の特性や形体・色彩などについて着目し、また、自分とは異なる他者の表現や見方を「鑑賞」で共有し自身の感性を更に広げたり深めたりします

2　学習の到達目標

⑴美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。
⑵自己のイメージをもって創造力を働かせ、個性的・機能的な表現能力を向上させる。
⑶美術に親しむ活動を通して、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な造形感覚や技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を創意工夫し、計画的に表現している。 美術文化などを理解し、美術作品などの表現の工夫について想像力を働かせて価値や美意識を感じ取りその良さを創造的に味わっている。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことを軸にして、目的や機能に合わせた良さや美しさを考えて、個性的・機能的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	キメラをデザインする	オリジナルのキャラクターをデザインする ・日本や海外で古来から伝わる神仏のキャラクター性と現在の漫画や企業キャラクターやキメラの学習 ・様々な生物や道具を書らを組み合わせて、キャラクター造形やそれらが活きる設定を考える	a:生活や社会の中でイメージを豊かにするキャラクターデザインの働きや古来から伝わる文化との関連性に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:組み合わせることによって生じる意外な面白さと表現形式による特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:画材の特性を生かして、キャラクターの性質に合わせた表現方法の工夫をしている。	製作中の様子 作品	製作中の様子 発言内容	製作中の様子 ワークシート
	パブリックアート	一学期に製作した作品を屋外の任意の場所に展示し、背景と作品の異化作用のおもしろさを知る	a:自分の作品と背景となる場所についてよく考えている。 b:写真撮影をする際にアングル等工夫が見られる。 c:鑑賞時に自分の作品について口頭で説明できる。	製作中の様子 作品	製作中の様子 発言内容	製作中の様子 ワークシート
2学期	シュルレアリスム	モダンテクニックによって偶然できた模様や、関連性の無いモチーフを組み合わせて思いがけないユニークな絵画を制作する	a:オートマティズムの技法を使い多種多様な素材を作る工程に積極的に取り組んでいる。 b:自由な発想とはどのようなものか試行し、具体化する構想を練っている。 c:各素材や色彩等、自分の世界観に合わせた表現ができている。	製作中の様子 作品	製作中の様子 発言内容	製作中の様子 ワークシート

	トリックアート	錯覚について学習し、それを活かした作品を制作する	a:内容を理解できている b:実際に作ったものが意図したとおりにできるか試行錯誤できる。 c: 他生徒の作品を鑑賞する際、それぞれの製作意図を理解し、自分の発想の糧と出来る。	製作中の様子 作品	製作中の様子 発言内容	製作中の様子 ワークシート
3学期	プロジェクションマッピング	コラージュ技法により制作した素材を各自プロジェクターを通してモチーフに投射する	a:コラージュ技法を用いて複数の素材を作ることに積極的に取り組んでいる。 b:映像として投射されたものがどのように見えるか、完成形を踏まえて編集等を行えている。 c:他生徒の作品を鑑賞する際、それぞれの製作意図を理解し、自分の発想の糧と出来る。	製作中の様子 作品	製作中の様子 発言内容	製作中の様子 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度